

平成15年度決算のあらまし

平成15年度は旧七尾市、旧田鶴浜町、旧中島町、及び旧能登島町がそれぞれのテーマを掲げ、地域の資源や特色を活かしながら、住民の生活向上を目指して事業に取り組んできました。

「人が輝く交流体感都市」のテーマのもと新七尾市がスタートしていますが、今回は、旧自治体それぞれの平成15年度決算状況をお知らせします。

長引く景気低迷のなか地方財政をとりまく状況は、国の三位一体の改革や交付税制度改革、減少し続けている自主財源など、ますます厳しくなりつつありますが、能登の中核都市にふさわしい新七尾市として、行財政改革を推進し、財政の健全化、合理化に努めて事業を進めていきますので、市民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。

自主財源

市町が自主的に市民のみなさんなどから得ることのできる収入です。

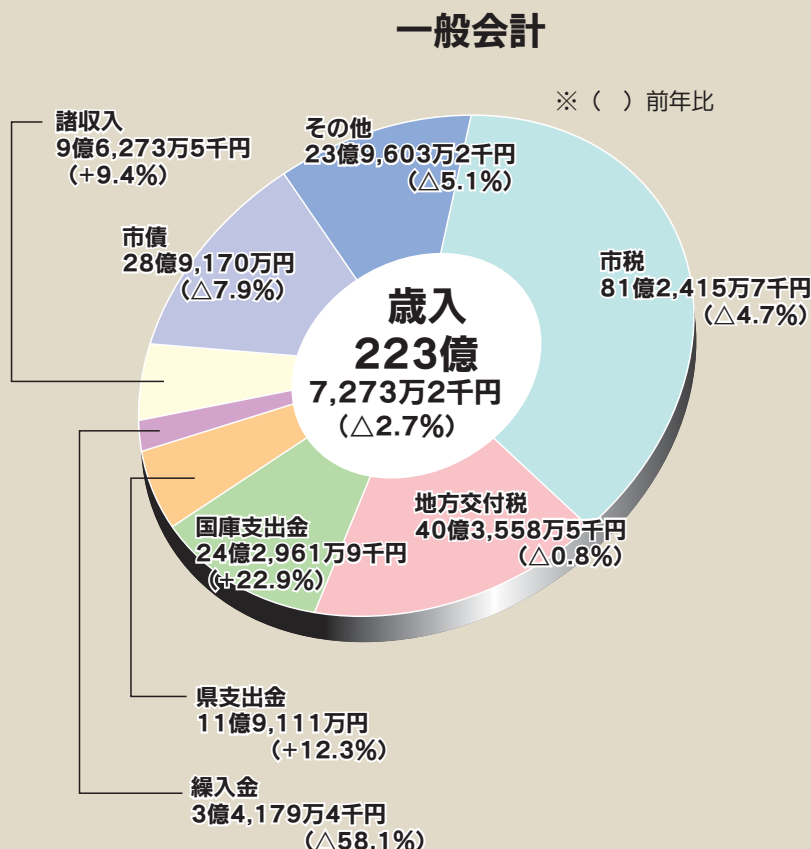
経常収支比率

市町の生活費の状況を収入との割合から計る1つの目安です。

起債制限比率

市町のローンの支払い状況を計る1つの目安です。

お問い合わせは 総務部財政課 ☎53-8455



【旧七尾市】

平成15年度は「産業活力の再生とまちを支える人づくり」を基本テーマに掲げ、限られた財源をやりくりして事業を進めてきました。そのなかでも特に人づくりに力をいれながら、市民のみなさんが安心して暮らせるまちになるように、さまざまな事業を行ってきました。

平成14年度との比較では、経常収支比率は2.0ポイント、起債制限比率は0.4ポイント改善されましたが、依然として財政の硬直化が進んでいます。